

対象年度	平成31年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	北関東中学校野球大会開催事業							予算事業名	北関東中学校野球大会開催事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			10	06	01	2001	経常経費					
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進(スポ ①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実 2各種大会の開催							事業の区分	主要事業 重点事業			
	事業期間	継続 (昭和25年度～平成32年度)							担当課係等	スポーツ振興課 スポーツ振興係		
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
選手間の交流や参加中学校相互の親睦を深めるとともに、青少年の強健な体力と旺盛な気力を養い、心身の健全育成を図る。また、「する」スポーツに加え、「見る」スポーツ、「支える」スポーツの振興を図ることにより、ゆうきの生涯スポーツの向上に寄与する。							第2次世界大戦後の復興期に、少年達が少しでもスポーツをする機会を増やす目的として、昭和25年7月から開催された。また、開催にあたっては、市民から寄付のあった土地を、当時の野球愛好家達が手造りでグラウンドを整備し、第1回大会を迎えた。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
毎年7月26日～7月31日の6日間の会期で、市内4会場において、北関東中学校野球大会を開催する。 ・野球部員には、選手として活躍していただくとともに、一生に残る思い出を作ってもらえる場を提供する。 ・スポーツ愛好市民には、球場に足を運んでいただくためのPRを行う。 ・審判員及び中高生ボランティアには、支えるスポーツの醸成を図る。 ・平成31年度第70回大会記念事業を実施する。							茨城県、栃木県下の中学校野球部員 スポーツ愛好市民 市内野球審判員 中高生等ボランティア 【事業をとりまく環境の変化】 少子化や子どもたちの野球離れにより、野球部員が不足し、出場辞退や他の中学校と合同チームで参加する中学校が増加している。今後は、参加中学校の見直しを行う必要がある。 審判員、高校生ボランティアについては、毎年同人数の協力があり、必要人数は順調に確保されている。					
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
第70回北関東中学校野球大会の開催 第70回大会記念式典の開催、記念誌の発行及び記念品作成			第71回北関東中学校野球大会の開催				第72回北関東中学校野球大会の開催					

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	2,194	2,549			
歳入計(千円)		2,194	2,549			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	852	856			
	11 需用費	972	1,193			
	12 役員費	3	3			
	13 委託料	78	78			
	14 使用料及び賃借料	256	355			
	16 原材料費	33	64			
歳出計(千円)(A)		2,194	2,549			
伸び率(%)			16.18			
備考	総合計画 123ページ 予算書 178ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	試合数	試合	目標	91.00	91.00	91.00
			実績	82.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加中学校数	校	目標	90.00	91.00	91.00
			実績	83.00	0.00	0.00
		人	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	歴史と伝統のある大会であるとともに、「する」スポーツに加え、「見る」スポーツ、「支える」スポーツの振興に寄与している。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	青少年の健全育成と体力の強化を図ることが目的であり、行政が主催すべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	スポーツ協会と大会運営に精通した野球連盟からなる実行委員会で運営しており、大会運営に対するノウハウを持っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内中学校はもとより、茨城県・栃木県から参加を募っている。また、多くの市民が野球観戦に訪れている。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	今回で第69回大会という歴史のある大会であり、前例にならう部分もある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	野球連盟の協力により、大会の進行、運営がスムーズに行っている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
参加中学校相互の交流と体力増進、健全な心身の発達に寄与するとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として提供されている。運営面も実行委員会や野球連盟の試合運営方法が確立されており、事業の意図は達成されている。また、伝統ある大会のため将来にわたり今後も継続していかねばならない。今後は少子化により参加校が減少する傾向である。2020年は東京オリンピックの日程と重なっており、開催日の検討が必要である。なお、この年は、インターハイの開催も控えているため、他のビッグイベントとの日程調整が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
少子化により参加校が減少する傾向であるため、大会規模を維持するには招待エリアの拡張も検討する必要があるが、部活動による生徒と教師の負担軽減が問題となっている昨今の社会情勢を考えると、大会規模縮小を検討する必要もある。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 少子化が進行し、従前の運営体制では維持が困難になり、近年参加校が若干減少傾向にある。また、平成30年3月にスポーツ庁から「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が示され、大会を主催する団体においても大会の規模や日程等の在り方について見直しが求められている。本大会についてもこのような状況を踏まえ検討を進める必要がある。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。